

熊本市各区における農業の特徴

西区の概要 うんしゅうみかん等の果樹の一大生産地!

西区では金峰山一帯を中心にうんしゅうみかん等の果樹が盛んに栽培され、本市果樹生産の中心となっています。うんしゅうみかん栽培の歴史は江戸時代からと古く、現在では県内生産量の約半分を占めており、全国でも有数の産地です。

平野部では水田の裏作としてキャベツやたまねぎ等が大規模に栽培され、高砂地区では「早出しれんこん」がハウスで生産されています。



金峰山でのうんしゅうみかん栽培



うんしゅうみかん



春キャベツ



高砂れんこん

南区の概要 日本一のなすの生産地!

南区では東西に横断する緑川を境に、北部の飽田・天明地域と南部の富合・城南地域を中心に広大な優良農地を活かした多種多様な農業が営まれています。

北部の飽田・天明地域では全国屈指の生産量を誇るなすをはじめ、トマトやメロン等の施設園芸野菜と米の複合経営が盛んに行われ、御幸・田迎地域では花き類の生産が行われているのが特徴です。

南部の富合・城南地域では広大な基盤整備済の水田を活かした米・麦・大豆等の土地利用型作物の生産が盛んに行われており、城南地域では宿根かすみそうをはじめとする花き類や畜産等も盛んです。



低コスト耐候性ハウス



なす



基盤整備済水田



宿根かすみそう

北区の概要 日本一のすいかの名産地!

日本一のすいか生産を誇る本市の主要産地である植木地域や北部地域を中心に、すいか、メロン、なす、ハウスみかん、花き類などの施設園芸が非常に盛んな地域です。

また、変化に富んだ地形を利用し、米、麦、そば、大豆や葉たばこのほか、うんしゅうみかんなどの果樹類も生産されています。畜産業も盛んで、酪農、肉用牛飼育、養豚などが営まれています。



ビニールハウス群



光センサーを利用したすいかの選果



アールスメロン



養豚

中央区の概要 豊かな水資源を利用した米、花き生産!

中央区では、熊本の豊かな水資源を利用し市街地・住宅地の中に点在する水田で米が栽培されるほか、出水地区を中心に、カーネーションやはなしょうぶ等の花きが生産されています。



中心市街地での農産物PR



水稻



カーネーション

東区の概要 熊本市最大の畜産団地!

東区では、畜産や米・麦・大豆のほか、すいか、ピーマン、トマト等の野菜や花きの生産等、多様な農業が営まれています。また、市民の農業体験活動も盛んに行われています。

供合、秋津、画図地区ではほ場整備が進み、白川や加勢川の豊富な水や地下水を利用して、稲作を中心に麦や大豆、せり等が栽培されています。

小山戸島地区では、酪農をはじめとして肉用牛、豚、馬の飼育が盛んに行われ、本市における畜産の一大産地となっています。



乳用牛



田植え体験



稲刈り体験



大豆の収穫